

とやま

県広報とやま

2002 | 10 月号

No.396

富山県

特集 **これからの地域総合福祉を考えよう!**
—富山県民福祉基本計画(仮称)を策定しています—



身近なところから宇宙に至るまで電磁波に関する幅広い研究を行っている富山県立大学電子情報工学科の岡田教授(前列中央)と学生・院生の皆さん。囲んでいるのは、今年3月にアラスガでの打ち上げに成功したロケットの模型。分かれている上部と下部を合わせると、全長5メートルになる。2列目右は中島学長。

8月

3日

静寂の森と湖で生きることの意味を考える 有峰森林文化村が開村

「水と緑といのちの森を永遠に」を基本理念に、大山町の有峰ダム周辺を森林文化活動の場として活用する有峰森林文化村が開村式が八月三日、開村式が行われました。開村式で中沖知事は、「共生と循環を五感で感じられる『こやこの空間』を創出し、新しい環境保全のあり方を世界に発信したい」とあいさつ。開村記念イベントとして、シンポジウム「有峰語り部講義」が開催されました。



美しい森が広がる有峰湖周辺

標高千メートルの有峰湖周辺は、ミズナラやカエデなどの美しい森が広がり、日本の

水源の森百選にも選ばれている自然の宝庫。昭和三十五年の有峰ダム完成後、県と北陸電力により豊かな自然が守られてきました。

文化村では今後、森の中で遊びながら憩い、学び、自然を守り、森と一体となれるような多彩な体験事業が行われます。

ホームページ「ありみネット」では、有峰森林文化村の最新情報を提供するほか、ネット会員「有峰村民」を募集しています。
(<http://www.arimine.net/>)

問合せ

有峰森林文化村

☎ 076(482)1420

8月

23 ~ 25日

先人の思い出の地へ

中沖知事が北方領土を訪問

中沖知事が団員の一人として参加した北方領土ピザなし

交流訪問団が、八月二十三日から二十五日まで国後島を訪問しました。

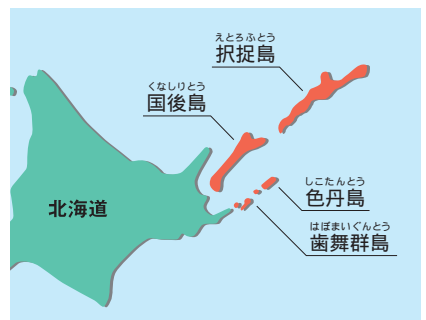
訪問団は島内の発電所や水産加工場などを視察。島内三カ所の日本人墓地では、先人の労苦をしのんで墓参しました。また、島民との対話集いや運動会に参加したほか、夜はロシア人家庭へのホームビジットを体験。島民と交流を深めました。



7月に富山を訪問したロシア人青少年と再会し、握手を交わす中沖知事

かつて多くの県人が北方領土へ渡り、昆布漁場などを開拓した歴史があり、富山県は北方領土からの引揚者が北海道に次いで多くなっています。

県では、県関係者のピザなし交流への継続的参加や、青少年の相互交流の拡充に努めるなど、北方領土の早期返還に向けてさまざまな取り組みを進めていきます。



早期返還が強く求められる北方領土

問合せ
県庁広報課
☎ 076(444)3134

9月

5 ~ 7日

自然との共生をめざして

国際山岳年記念全国山岳トイレシンポジウムin富山

山のトイレ問題を通して登山や施設整備のあり方を考える「第四回全国山岳トイレシンポジウムin富山」が、九月五日から七日まで県内で開催されました。

五日の基調講演では、女優の市毛良枝さんが、「持ち去らず、残していかない登山」を



水洗式公衆トイレとしては日本最高の標高にある立山一ノ越公衆トイレ。チップ制を導入し、山岳地での屎処理に理解と協力を呼びかけている。

提案。続く分科会では、自然と共生できる登山とトイレのあり方をめぐって意見が交わされました。また、六日には立山一帯で現地研修が行われ、全国の研究者や山小屋関係者など約百三十人が参加。し尿処理の先進的な取り組みなどを視察しました。

県では昨年、立山一ノ越に山岳地の景観と環境に配慮した簡易水洗式公衆トイレを設置しました。今後も、利用者のマナー向上や使用済みペーパーの持ち帰り運動の啓発など、自然と共生する登山を広く呼びかけていくことにしています。

問合せ

県庁自然保護課

☎ 076(444)3396

魅力ある“まちなみ”を再発見！

町に残る古い家屋や商店を活用し、中心市街地を丸ごとギャラリーに仕立てあげ、彫刻や絵画などの美術品を展示する「まちなみアートリレー in とやま2002」が県内各地で開催されます。



「旧北陸道アートin小杉」
実行委員

森永 醸治さん

自分たちが住んでいる町には、歴史・文化遺産がたくさんあります。古いものの良さを生かし、地域住民が一体となって盛り上げられるよう心がけており、最近では町並みにあった個性あふれる店も増えてきました。今年5月に開催したイベントは、古い建物を利用し、美術展、木版展、酒蔵でのコンサートなど、町の多くの人々の参加を得て行いました。一つの出会いの積み重ねが人的ネットワークにつながっています。今後も町の人に元氣と勇気を与えるイベントにしていきたいと思ひます。



5月に行われた「旧北陸道アートin小杉」。古い建物に美術品が飾られ、お互いの良さを引き立てている。

「旧北陸道アートin小杉」に訪れた人の声
 「古い町並みを生かして、古さの中に新しさを感じた」
 「酒蔵の中でのコンサートが良かった。蔵の再発見になった」
 「建物の木のぬくもりが伝わってきて昔懐かしく感じた」



町並みや軒先に飾られた芸術作品などをゆっくり散策しながら楽しむことができます。昨年、県の「元氣に富山」県民活動支援制度の助成を受け、八尾町、婦中町、井波町、福野町の四町でスタートしました。今年度は、九地区までリレーの輪を広げ、五月に小杉町、九月に県民会館分館内山邸（富山市）



町並みと芸術が融合した新たな魅力

「まちなみアートリレー」は、各地のアートイベントをリレー方式で一つにつなぎ、地域の魅力をより高めようとする新しい試みです。来訪者は各地を巡り、それぞれ趣のある町並みや軒先に飾られた芸術作品などをゆっくり散策しながら楽しむことができます。昨年、県の「元氣に富山」県民活動支援制度の助成を受け、八尾町、婦中町、井波町、福野町の四町でスタートしました。今年度は、九地区までリレーの輪を広げ、五月に小杉町、九月に県民会館分館内山邸（富山市）

問合せ 県庁総合政策課
 ☎ 076(444)9605

「元氣に富山」県民活動支援制度
 元氣あふれる富山の実現に向けた新たな事業に対し、県が経費の二分の一（限度額百万円）を助成するもの。

現在、県内では、県、市町村、民間が連携したさまざまな「元氣活動」が行われています。県では、今後も「元氣に富山」を推進する活動への支援を行い、富山の元氣を全国に発信していきます。

元氣な活動を応援します

で行われたほか、十一月に県内各地で開催されます。皆さんもひと味違ったアートに触れ、今まで気付かなかった「まちなみ」の新しい魅力を感じてみませんか。

まちなみアートリレー in とやま 2002(今後の予定)

事業名	開催期間	開催場所	問合せ先
八尾町 坂のまちアート in やつお	10/11(金)~14(月・祝)	町屋の通りの周辺 (西新町~下新町)	坂のまちアート in やつお実行委員会 ☎ 076(454)5138(越中八尾観光会館内)
富山市 のき下アート in 水橋中部	10/12(土)・13(日)	新大町~中大町のメイン通り (水橋中学校から照蓮寺まで)	ふるさとづくり推進協議会 ☎ 076(478)0019
婦中町 アートギャラリー in 婦中	10/12(土)~20(日)	婦中町ふれあい館、 速星駅前通り、安田城跡	婦中町教育委員会生涯学習課 ☎ 076(465)3113
高岡市 さまのこアート in よっさ	10/19(土)・20(日)	吉久・旧放生津往来 (万葉線 新吉久停車場近く)	吉久の伝統的町並を考える会 ☎ 0766(82)2888
滑川市 ひかりの街アート in なめりかわ	10/24(木)~27(日)	公園通り商店街(JR滑川駅前)、 滑川市立図書館	滑川市商工水産課 ☎ 076(475)2111
井波町 まちなみアート in いなみ2002	10/25(金)~27(日)	八日町通り、本町通り (瑞泉寺に続く石畳の古い町並み)	井波町商工会 ☎ 0763(82)0184
福野町 ふくの「市の里」アートフェスタ	11/1(金)~12(火)	福野町商店街(JR福野駅前の上町通り、 横町通り)、ギャラリー「市の里」	福野町商工会 ☎ 0763(22)2536

これからの地域総合福祉を考えよう！

県民福祉基本計画の3つの柱と30の実現目標(抜粋) 目標年次は2010年

参加による福祉の人づくり

思いやりの心の醸成

・交通機関で席を譲ったことのある人の割合
1998年 51.4% ▶ 70%

福祉人材の育成

・介護福祉士県内登録者数
2002年 2,003人 ▶ 4,500人

福祉コミュニティの形成

・地域福祉活動リーダー養成数
1999年 299人 ▶ 800人

ボランティア登録者数

2002年 40,793人 ▶ 50,000人



など

人にやさしい福祉のまちづくり

誰もが安心して暮らせるまちづくり

・歩道の段差解消率
2002年 77% ▶ 88%

・低床バスの導入車両数
2002年 14両 ▶ 115両

高齢者、障害者の就業、社会参加の支援

・60～64歳の就業率
1995年 57.1% ▶ 62%

福祉関連産業の振興

・福祉関連サービス業の事業所数
2002年 187事業所 ▶ 215事業所

など

安心できる福祉のネットワークづくり

利用者本位の福祉サービスの提供

・社会福祉法人における苦情解決体制の整備率
2002年 65% ▶ 100%

地域単位の福祉サービスの提供

・地域福祉計画を策定した市町村数
2002年 0ヶ所 ▶ 35ヶ所

保健・医療・福祉の連携

・質量ともにきちんとした食事をする人の割合
2002年 54.3% ▶ 70%以上

など

「福祉とやま 未来モデル構想」

対話型福祉コミュニティの創造

- ・近所づきあいの再構築
- ・小学校区で総合的に福祉サービスを提供する「コミュニティ・ケアチーム」の配置 など

富山版「居住型」福祉の実現

- ・景観や自然を生かした高齢者福祉施設の整備
- ・誰もが外出しやすいまちづくりを試行する「ふれあいモデル地区」の指定 など

「利用する福祉」から「創造する福祉」へ

- ・福祉情報に関する総合的な利用者ガイドの刊行
- ・地域情報化の促進による「電腦福祉コミュニティ」づくりの体制整備 など

これからの地域総合福祉を考えよう！

富山県民福祉基本計画(仮称)を策定しています

現在県では、県民一人ひとりが住み慣れた地域で安心して暮らせる社会の実現を目指し、これからの県の福祉施策の基本となる「富山県民福祉基本計画(仮称)」の策定に取り組んでいます。すべての県民でつくる「幸せに生きる福祉社会」について、みなさんもいっしょに考えてみませんか。



元氣シニアの活動を応援する「じゃ会(あ)おCLUB」(新湊市) 地域ぐるみの福祉活動に取り組む「みつばの会」(大沢野町) 今夏開催された出前県庁「一日厚生部」

県民福祉基本計画の策定に向けて

「元氣な社会福祉とやまの創造」を目指して、県民福祉基本計画(仮称)では、県民福祉条例の目的を達成するため、「元氣な社会 福祉とやまの創造」を基本目標としています。また、この計画の策定にあたっては、次の三点を基本的な考え方でしています。

福祉に関する施策を総合的、横断的に推進する
住民の生活圏である地域を基盤とする
すべての県民を対象とし、県民の参画と協働を促進する

計画を支える三つの柱

上記のような基本的な考え方のもと、計画ではさまざまな施策の展開を検討しています。その柱として

- 参加による「福祉の人づくり」
福祉意識の一般化や福祉を担う人材の育成
- 人にやさしい「福祉のまちづくり」
すべての県民が積極的に社会活動に参加できる環境整備
- 安心できる「福祉のネットワークづくり」
福祉サービスの総合的提供体制の整備

「地域総合福祉」とは

今日の福祉をめぐる現状

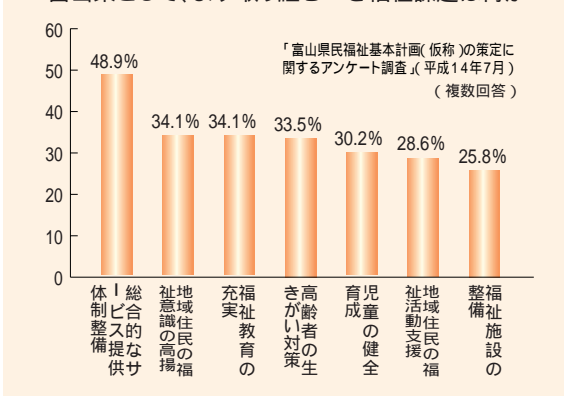
これまでの福祉行政では、一部の限られた方々の保護や救済を主な目的に、高齢者や障害者、児童といった対象者にさまざまな福祉施策に取り組んできました。

今日、少子高齢化の進行や家庭・地域のつながりの希薄化に加え、経済状況の変化など、私たちがめぐる社会環境は大きく変わってきています。このような中、一人ひとりの福祉ニーズが複雑・多様化してそれぞれになり、これまでのような対象者別の取組みでは必要なサービスが行き届かない場合が生じています。また、「医療・保険」「教育」「雇用」「住宅」など、福祉と密接に関係する分野でのニーズが増大するなど、福祉は身近な生活課題としてすべての人に関わりのあるものとなってきています。一方、平成十四年に実施したアンケート調査では、県としてまず取り組むべき福祉課題として、約半数の県民が総合的な福祉サービスの充実を挙げています。また、施設の整備よりも、福祉意識の高揚や福祉教育の充実など、ソフト重視の福祉施策を求める声が大きくなった結果となっています。

地域総合福祉の目指すもの

私たちが暮らす地域には、お互いに助け合って元気に生きるための財産があふれています。このような身近な地域で、誰もが必要に応じて適切なサービスを利用できる福祉社会を構築するため、家庭・地域社会・施設等が一体となって取り組むものとしているのが「地域総合福祉」です。県では、すべての県民が「幸せに生きる福祉社会」の実現に向けて、平成八年、全国に先駆けて県民福祉条例を制定。昨年からはスタートした富山県民新世紀計画や福祉をめぐる現状をふまえ、「地域総合福祉」をキーワードとした「富山県民福祉基本計画(仮称)」の策定に取り組んでいます。

富山県として、まず取り組むべき福祉課題は何か



すべての県民でつくる「幸せに生きる福祉社会」の実現のために、みなさんのご意見をお待ちしております。

特集についての問合せは
県厚生企画課
☎ 076(444)3196
FAX 076(444)3491
http://www.pref.toyama.jp/section/1200/1200.htm

身近な課題から宇宙空間まで 世界標準となる技術で地域に貢献



アラスカ大学発射場での打ち上げに成功したロケット（全長5メートル）

ゼロからのロケット打ち上げ



富山県立大学工学部
電子情報工学科
電磁波工学研究室の
皆さん

左より
高木 健治さん、
村上 智さん、
和泉 良明さん

電磁波工学研究室では岡田敏美教授のもと、院生・学生など15名が、電磁波の基礎研究とその応用に関する研究を行っている。電磁波とは、電波・赤外線・X線などの総称で、研究課題も身近な地域の課題から宇宙空間までと実に幅広い。最近では、ロケット実験を通して技術の研修・交流を図るアラスカ大学主催の「学生ロケットプロジェクト」にも参加。今年3月にはメンバーが制作した受信機を積んだロケットの打ち上げに成功した。

人命を救い、くらしに役立つ

登山者が持つ発信機の電波を、ヘリコプターから探査する山岳遭難者探索システム「ヤマタン」。高木さんは、このシステムの改良に取り組んでいる。発信機からの電波は、雪や地形、ヘリコプター自身などに干渉されるため、これを分別することが重要な課題であると考えたからだ。「目に見えない電波のことで、最初

は本当に手探りでした」

スキー場のゴンドラや大学構内での実験を繰り返すうち、見えなはずの電波が「見えて」きた。

「この研究がいつか人命を救うかもしれない。社会の役に立てることが嬉しい」と高木さんは言う。

砺波平野に広がる散居村の気象観測を行っているのは和泉さん。屋敷林のある家にセンサーを設置し、観測を行っている。

「自分を育ててくれた富山に根ざした研究がしたかった。夏は涼しく冬は暖かいという屋敷林の特性を、伝承だけでなく数字で証明したい」

観測にあたって、実地計測に適した家を自分の足で探し回った。快くそれに応じてくれた地元の人

のあたたかさにも触れた。「研究成果は、近代住宅や農作業に

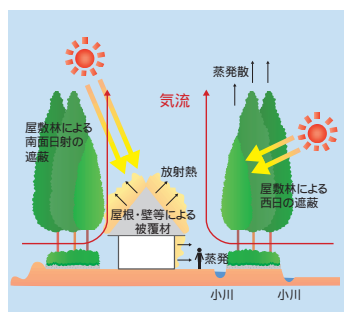
応用できるのではと考えています。これからも教科書に書いてないことを勉強したい、と和泉さんは言う。

地域に還元できる研究を

岡田教授は、それぞれの研究について学生たちに具体的な指示はしない。しかし、行き詰まったときには方向を示してくれる。そんな教授と共に学ぶ学生たちには、教授への強い信頼感と自身の研究に誇りを持つ様子が見ええる。

「ひとつの研究からいろいろな応用ができる。地域に根ざした課題から世界標準が生まれることが、地域への貢献なんです」と岡田教授は語る。

「就職してもものづくりは続けたい」「新しいものを生み出す仕事がしたい」と語る院生・学生たち。科学を通して地域社会に貢献する力が、ここから生まれている。



夏の屋敷林のメカニズム図。これまでの常識とは違うデータも収集できた。来年3月にはまとめる予定。

皆さんに郷土の良さを再発見・再認識していただくため、新聞・テレビ・雑誌などで全国で紹介された富山の話題を紹介します。今回は平成14年7～8月に紹介された話題の中からいくつかを紹介します。なお、ここで紹介しきれなかったものは県広報課のホームページでご覧になれます。

住みやすさではやはり日本一

さまざまなデータから県民性を紹介するコーナーで、富山県は持ち家率や家の広さが全国一であることのほか、「騒音や河川、大気の汚れなどをふだん感じる」人が全国で一番少ないことを紹介。改めて「住みやすさナンバー1」を印象付けた。

●月刊ビジネスデータ 8月号



初心者から上級者までが楽しめます

「北アルプスなんでもランキング」コーナーで、単一の山をめざすコースの標高差ベスト1に樺平から仙人池を経て登る剣岳（累積標高差2,868m）を、また、登頂時間の短い山ベスト10で室堂から登る雄山（2時間20分）など4つのコースを紹介した。

●山と渓谷 8月号



思わずハマるあのデザイン

首都圏にあるOLや女子学生を対象にした置き菓のアンテナショップを紹介。昔から変わらない「富山のくすり」のユニークなパッケージデザインが若い女性に受け、人気を呼んでいるという。

●サンデー毎日 7月28日号



ゆっくり歩いてみませんか

健康・環境・観光をテーマに、読者の投票などにより読売新聞が全国「遊歩百選」を選定。富山県からは、氷見市松田江の長浜、黒部市生地、小矢部市石動の寺と石仏が選ばれた。

●読売新聞 8月18日



地元の食材で子どもを育てよう

学校給食に積極的に地元の食材を使おうとする砺波市の「地場産給食」を紹介。休耕田を活用した独自のシステムで高品質の野菜を安定供給し、子どもたちからも「美味しい」と評判だと伝えた。

●NHK総合「クローズアップ現代」7月24日



今後の予定

「NHKのど自慢 魚津市」

NHK総合、衛星第2、ラジオ第一
11月3日(日)午後0:15～1:00
ゲスト：西城秀樹、瀬川瑛子

「開運！なんでも鑑定団 出張鑑定 in 城端」

チューリップテレビ11月9日(土)正午～午後1:00
むぎや祭り会場の善徳寺からお送りします。



富山県が全国で紹介された情報をお持ちでしたら、ぜひ県庁広報課までお知らせください。

編集部から

県広報とやまが隔月（偶数月）新聞折込となって半年。各号全世帯配布になって良かったというご意見をたくさんいただいています。広報誌でお伝えしきれない県の情報については、月2回（原則第2・4土曜日）の新聞広報でお知らせしていますので、ぜひこちらもご覧ください。

なお、県広報とやまは次の場所で無料配布するほか、郵送での定期購読も受け付けています。

主な配布箇所 / 県庁、県刊行物センター（県民会館1階）県の各施設、市町村役場、図書館、文化ホール、公共温泉施設、主なショッピングセンター、いきいきKAN（富山駅前CIC5階）、JR駅（一部）、富山空港、東京事務所、大阪事務所、名古屋事務所

定期購読の申込方法 / 郵便番号、住所、氏名、電話番号、購読回数を明記し、郵送料として1回当たり120円分の切手を同封のうえ、県庁広報課「県広報とやま 定期購読係」までお申し込みください。

なお、本号とバックナンバーは、県庁広報課のホームページで閲覧することができます。

とやまの情報お伝えします！【10月の県政番組・お知らせ】

こんにちは富山県です 北日本放送テレビ 毎週日曜 11:00～11:30

- 6日 障害者福祉の向上をめざして
- 13日 ふるさとの味を後世に
- 20日 歴史が育てた菓の文化
- 27日 わがまち自慢～新湊市～

とやまDASH！ フォーカス・イン 富山テレビ 毎週日曜 9:00～9:30

- 6日 我が町の自慢
- 13日 立山の自然を守ろう
- 20日 食の伝承人
- 27日 富山に移り住んだ人々

富山が元気。 見たモン勝ち2 チューリップテレビ 第4日曜 10:00～10:52
27日 とやまの土木

とやま県間録 FMとやま 毎週月曜～木曜 11:30～11:40
毎週土曜 11:30～11:55

新聞広報「県からのお知らせ」
10月12日・26日の朝刊各紙に掲載予定
富山県ホームページ
<http://www.pref.toyama.jp/>

県政クイズ

身近な地域で誰もが必要なときに適切なサービスが利用できる福祉社会に向けて、家庭・地域社会・施設等が一体となった取り組みは「地域福祉」です。

を埋めてください。

答えは特集を読めばわかります

応募方法

ハガキに、クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年令と本誌の感想を記載し、富山県庁広報課「県広報とやま 10月号クイズ係」まで。
締切 / 10月16日(水) (消印有効)

正解者の中から20名の方に、「水墨美術館観覧券」をペアでプレゼントします。
(当選の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます)



県庁広報課への郵便、ご連絡は 〒930-8501(県庁専用郵便番号、住所記入不要) 県庁広報課あて
☎ 076(444)3134 FAX 076(444)3478 e-mail koho2@pref.toyama.jp
県庁広報課のホームページは <http://www.pref.toyama.jp/sections/1101/1101.htm>

近代美術館

「郷土の日本画家たち」展
 【～11/4(月・休)】
 明治から現在に至る富山の日本画の歩みを、木村立嶽や石崎光瑤から郷倉和子、下田義寛までの主要作家33名の作品約70点を紹介します。
 一般500円/高・大400円/小・中250円
 常設展示もご覧になれます。
 9:30～17:00(入館は16:30まで)
 ㊟月曜・祝日の翌日(10/14、11/4は開館) 11/5
 常設展示観覧料 一般200円 高・大160円 小・中100円



水墨美術館

上村松園・鎗木清方展
 【10/4(金)～11/4(月・休)】
 東西美人画の巨匠である上村松園と鎗木清方による二人展。日本人特有の感性によって描かれた代表作67点を展示します。
 一般1,200円/高・大600円/小・中300円
 常設展示もご覧になれます。
 9:30～17:00(入館は16:30まで)
 ㊟月曜・祝日の翌日(10/14、11/4は開館) 11/5
 常設展示観覧料 一般200円 高・大160円 小・中100円



中央植物園

企画展「カボチャとヒョウタン」
 【～10/23(水)】
どんぐりで遊ぼう
 【10/20(日)13:00～16:00】
 「こま」や「やじろべえ」など、どんぐりを材料にした楽しいおもちゃの作り方を講習します。要申込 10/13まで 定員40名(申込順)
企画展「植物画展」
 【11/1(金)～13(水)】
 いずれも入園料が必要です。
 9:00～17:00(11月より～16:30)
 ㊟木曜 入園料 一般600円 小・中300円



立山博物館

企画展「絵図に見る加賀藩と黒部奥山」
 【10/5(土)～11/4(月・休)】
 江戸時代の「黒部奥山」の様子を絵図によりわかりやすく紹介します。
 一般200円/高・大160円/小・中100円
 9:30～17:00(入館は16:30まで)
 ㊟月曜・祝日の翌日(10/14、11/4は開館) 11/5
 一般650円 高・大400円 小・中250円
 展示館・展望館・まんだら遊苑の3施設セット券



県民公園太閤山ランド

太閤山ランド秋祭り「恐竜王国2002」
 【10/13(日)14(月・祝)10:00～15:00】
 親子での恐竜づくり、ふわふわランドでの「遊び」や、グルメ通りのピザ、カレーなどの「食」を満喫できます。
ニューゴルフ大会
 【10/20(日)9:45～14:00】
 ニューゴルフ6種目の競技大会を行います。参加料1,000円(昼食代含む) 要申込 10/7まで
 9:00～17:00
 ㊟火曜・祝日の翌日
 入園無料(駐車料金は別途必要)



海王丸パーク

「ぼくらの夢帆船」帆船海王丸絵画コンクール2002
 【10/2(水)～11/4(月・休)9:00～16:00】
 県内の小学生から応募された帆船海王丸の絵画を展示します。
巨大フリーマーケット
 【10/6(日)9:00～17:00】
 約200店が参加するフリーマーケットを実施します。
総帆展帆
 【11/3(日・祝)】
 入園自由 帆船海王丸乗船は9:30～17:00
 ㊟月曜・祝日の翌日(10/14、11/4は乗船可) 11/5
 乗船料 一般400円 小・中200円



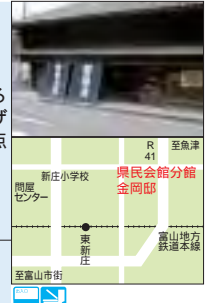
こどもみらい館

トリックの世界
 【～11/4(月・休)】
 だまし絵、さかさ絵などの視覚トリックを楽しめます。
プラモデルの世界
 【～3/9(日)】
 車、飛行機、恐竜などいろいろなプラモデルを見ることができます。
造形ワンダーランド「ムシ」
 【10/12(土)～11/10(日)】
 ささまざまな虫たちのおもしろい動きをテーマにもつくりを楽しみます。材料代100～300円
 9:30～17:00
 ㊟火曜・第4水曜・祝日の翌日 入館無料



県民会館分館金岡邸

とやまのデザイン事始め
くすり文化はおもしろい!
 【10/2(水)～11/4(月・休)】
 現在のとやまのデザインの原点ともいえる薬の資料を図柄の意味や背景、歴史などデザインの視点から、薬袋、売薬版画など約80点を展示します。
 9:00～16:00
 ㊟火曜
 入館料 一般200円 小・中・高100円



県薬用植物指導センター

秋の薬草に親しむ会
 【10/27(日)9:30～15:30】無料
 薬草に関するさまざまな講習を行います。
 ・薬草標本園の見学
 ・薬用酒の作り方と使い方
 ・薬用植物の育て方
 ・薬用植物の収穫と加工方法 など
 要申込 10/25まで 定員60名(申込順)
 9:00～17:00
 ㊟土曜・日曜・祝日
 入館無料



新川文化ホール

N響メンバーで聴く名曲コンサート
大林修子ヴァイオリンリサイタル
 【10/21(月)開演19:00】
 NHK交響楽団に所属する国内トップレベルのヴァイオリニスト・大林修子が、音楽の持つ「感動」をお伝えします。
 曲目/クライスラー「愛の悲しみ」「愛の喜び」
 サラサーテ「チゴイネルワイゼン」他
 全席自由
 一般2,000円/学生1,000円
 (当日はそれぞれ500円高)



県民ボランティア総合支援センター

富山県民ボランティア大会
 【10/26(土)10:00～18:30】無料
 「ボランティア活動強調月間」の総まとめとして県民が集うボランティア大会を開催します。
 記念講演 講師/藤田 弓子(女優)
 テーマ/「いつも何かにときめいていよう」
 交流会/ボランティア入門講座など6テーマ
 会場/県総合福祉会館福祉ホール ほか
 要申込 10/10まで
 定員 式典・記念講演300名、交流会各テーマ50名程度
 いずれも申込順
 9:00～21:00(日・祝は～17:00)
 ㊟月曜(10/14、11/4は開館) 10/15、11/5 入館無料



埋蔵文化財センター

特別展「生と死の祈り」
併設展「こども考古学ラボ」
 【10/4(金)～11/10(日)】無料
 原始・古代の人々の生と死への祈りを県内外の出土遺物を通して紹介します。また、子どもたちが考古資料に直接ふれられる体験コーナーもあります。
記念講演「生と死の祈り」
 【10/19(土)13:30～】無料
 講師/水野 正好(奈良大学教授)
 要申込 10/18まで 定員120名(申込順)
 9:00～17:00
 ㊟土曜・日曜・祝日(会期中は無休) 入館無料



近代美術館、水墨美術館、中央植物園、立山博物館、県民会館分館金岡邸は土日・祝日の小・中学生、高校生の観覧料、入園料は無料です。